

---

たかつがわ  
高津川河川整備アドバイザー会議  
たかつがわ  
高津川総合水系環境整備事業  
計画段階評価資料

令和4年10月20日

国土交通省 中国地方整備局

# 1. 流域及び河川の概要

## (1)流域の概要

高津川は、島根県西部の日本海側に位置し、その源を島根県鹿足郡吉賀町田野原に発し、高尻川、福川川等を合わせて北流し、津和野町日原において津和野川を合わせ、益田市において匹見川、白上川等を合わせて、益田平野を北流し日本海に注ぐ、幹川流路延長81km、流域面積1,090km<sup>2</sup>の一級河川である。



### 下流部

【河口～大臣管理区間上流端付近】

安富・横田の旧河道の氾濫原等、まとまった平地が現れ、短い感潮域の直上流には、流域最大のアユの産卵場と言われる「地蔵の瀬」が存在し、河口付近はモクズガニやアユカケの産卵場も存在する。



河口



益田市街地付近

### 中流部

【大臣管理区間上流端付近～木部谷川合流点付近】

自然植生はほとんど伐採され、代償植生の分布が大半を占めている。日原付近までは穿入蛇行区間もあり兩岸に山肌が迫るが、その下流では幅100～300mの谷底平野が形成され、多くは耕地や宅地として利用されている。



柿木付近の穿入蛇行による谷底盆地



日原付近(津和野川合流点)

### 上流部

【木部谷川合流点付近～源流】

河川争奪の影響で比較的標高の低い(標高約400m)本川源流部、西中国山地の一角を形成する山岳地帯(標高約1,300～1,200m)から発する匹見川、高尻川、福川川などの支川源流部等を擁しており、ほぼ全体が山地によって占められている。その中において、六日市付近は、上流域では比較的広い谷底盆地を形成している。



高津川本川最上流部付近



六日市付近の谷底盆地

## 流域及び氾濫域の諸元

流域面積(集水面積) : 1,090km<sup>2</sup>  
 幹川流路延長 : 81km  
 流域内人口 : 約3万2千人  
 想定氾濫区域面積 : 約39km<sup>2</sup>  
 想定氾濫区域内人口 : 約2万1千人  
 想定氾濫区域内資産額 : 4,971億円  
 主な市町村 : 益田市、津和野町、  
 吉賀町等

## 土地利用

流域の土地利用は、山地等が約96%、水田や畑地等の農地が約3%、宅地等の市街地が約1%となっている。

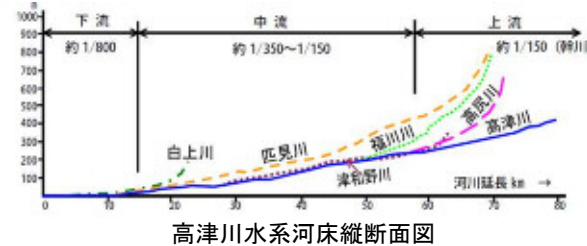


## 産業

下流域の益田市が人口の約76%を占めるが、古くから石西地域の中心都市として木工業、紡績業が発達していますが、近年、相次いで開発された萩・石見空港、石見臨空ファクトリーパーク、益田地区国営農地開発事業を基盤とした工業、農業などの振興が期待される。

## 地形

本川最上流部は、錦川水系の深谷川によって高津川が河川争奪を受けたため、標高400m程度の平地が広がっている。中流域は、上流域よりも川幅が狭まり、山間を流下し穿入蛇行区間などのV字渓谷を有する区間で、六日市付近から日原付近の河床勾配が約1/180~1/150、その下流で約1/350程度である。下流域は、益田市神田付近から広い谷底平野を形成し、河床勾配は約1/800程度である。



## 自然環境

高津川流域の匹見峡は、表、裏、奥の三溪谷からなり、大部分が西中国山地国定公園に指定されており、春はキシツツジ、新緑、秋は紅葉に彩られる、高津川流域随一の景勝地となっている。

また、河口域には美しい海岸線(土田、三里ヶ浜、持石、飯浦など)が広がり、その周辺に点在する、唐音の蛇岩、鑪崎、栃原の高野槇や若杉の天然、金谷の城山桜など巨樹は、四季ごとに様々な表情を見せている。



匹見峡



観音岩(三里ヶ浜)

## 水質

高津川水系の水質保全の目標となる水質汚濁に係る環境基準の水域類型指定は、河口から飯田吊橋までがA類型であり、飯田吊橋から上流がAA類型に指定されており、水質汚濁の代表指標であるBODについては環境基準を満足し、良好な水質を維持している。

河川の水質(BOD)状況

河川名(水系)	河川のBOD値 <sup>1)</sup> (mg/l)			
	年平均値		75%値	
	令和元年	平成30年	令和元年	平成30年
千代川(千代川水系)	0.5	0.7	0.6	0.6
大神川(大神川水系)	0.6	0.6	0.6	0.5
小鴨川(天神川水系)	0.5	0.8	0.5	0.6
日野川(日野川水系)	0.9	0.8	0.8	0.9
法勝寺川(日野川水系)	0.9	0.9	1.1	1.0
登守川(登守川水系)	0.8	0.7	0.9	1.0
江の川(江の川水系)	0.9	0.8	1.0	0.6
高津川(高津川水系)	0.5	0.6	0.5	0.6
吉井川(吉井川水系)	1.5	1.8	1.6	1.7

「令和元年中国地方一級河川の水質現況」より

※BOD年平均値が、環境省の定める公共用水域水質測定結果の報告下限値の0.5mg/リットルである地点を「水質が良好な地点」としている。



高津川水系水質調査地点および類型指定図

## (2)河川の概要①

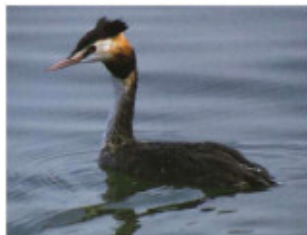
### 【自然環境】

- ・高津川は、日本で唯一ダムのない一級河川※で、「水質が最も良好な河川」に何度も選ばれるほどの全国有数の清流である。(※砂防ダムを除く)
- ・エンコウの瀬(地蔵の瀬)、ナガタの瀬、虫追の瀬は、古くから代表的なアユの産卵場となっている。河道内には井堰等が少なく、河口部から国管理区間上流端付近までは魚類が自由に移動可能であり、瀬・淵の豊富な河床状態が保たれていることもあり、アユ以外にもウグイ、ヨシノボリ類、コイ、フナ類、ウナギ等、多くの種が見られる。
- ・河口付近には、カンムリカイツブリが飛来する。また、河口付近の汽水域の淵には、アユカケやモクズガニの産卵場が存在する。6.0k~8.6k付近には大規模な河原が形成されており、イカルチドリやカワラバッタ等、河原特有の環境を好む動植物が生息・生育・繁殖している。

### 【景観】

- ・高津川に架かる飯田吊橋、安富橋、高角橋は高津川の三名橋と呼ばれ、飯田吊橋と安富橋は鮮やかな赤い吊り橋で、高欄部分にはハートの形が施され縁結びのスポットとなっている。高津川に映える5連アーチが美しい高角橋は、島根県唯一の鉄筋コンクリートローゼ析橋で、土木学会選奨土木遺産である。

### 【自然環境】



カンムリカイツブリ



アユの産卵場



アユカケ  
(環境省レッドリスト:絶滅危惧Ⅱ類、  
島根県レッドリスト:準絶滅危惧)



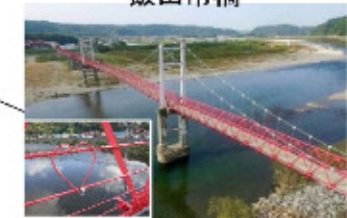
### 【景観】



高角橋



飯田吊橋



安富橋

## (2)河川の概要②

### 【歴史・文化】

- ・柿本人麻呂が祀られている高津川沿川の高津柿本神社では、毎年9月1日に「八朔祭」が行われ、古式豊かな「流鏝馬神事」が高津川の河川敷で催されている。また、神社から高角橋までの参道は露天商が並び、賑わいをみせている。
- ・豊魚・安全を祈願する船神事の「ホーランエー※」と花火大会と一緒に行われる高津川の夏の風物詩「益田水郷祭」は、毎年8月の第一土曜日に開催され、高津新大橋下流西側河川敷では屋台や売店が出されている。 ※ホーランエー：江戸時代の高津川河口での海上流通に端を発する神事であり、豊漁・安全祈願の祭り
- ・益田市は、中世日本を味わうことができるまちとして令和2年6月に日本遺産に認定され「高津川と匹見川」「鮎とうるか※1」が「構成文化財※2」となっている。

※1 うるかとは、鮎の塩辛のこと

※2 我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」に文化庁が認定。ストーリーを語る上で不可欠な文化財群(ストーリーの「構成文化財」)は、地域に受け継がれている有形・無形のあらゆる文化財を 対象としている。

### 【河川空間利用】

- ・高津川(大臣管理区間)の河川空間利用者数(推定)は約8.5万人(平成31年度)であり、散策や釣り等の利用が多い。
- ・広い高水敷や穏やかな水辺を活用して地域のイベント(高津柿本神社の神事である流鏝馬神事、益田水郷祭(花火大会・ホーランエー)、いかだ流し等)やアユ釣り等が行われている。その他、地域の児童が水遊びや環境学習の場としても利用している。
- ・高津川流域では、サイクリングイベントが開催され、全国で唯一、現役の空港滑走路を走る大人気の「益田I・NA・KAライド」や、高津川の河口から水源までの「高津川源流ライド」のコース等が益田市のサイクリングマップで紹介されている。

### 【河川整備の経緯】

- ・高津川ではこれまで環境整備事業は実施していないが、高津川派川において益田市がせせらぎ広場を整備しており、水遊び、散策等の利用がある。

【歴史・文化】



たかつかきのもとじんじや  
高津柿本神社



やぶさめしんじ  
鏝流馬神事



【河川空間利用】



鮎釣り



いかだ流し



環境学習

【これまでの河川整備】



ますだすいごうさい  
益田水郷祭(ホーランエー)



せせらぎ広場



ますだ  
益田I・NA・KAライド  
はぎ  
いわみ  
(萩・石見空港の滑走路を走行)



たかつかわ  
高津川源流ライド  
(サイクルイベント)

【既存サイクリングコース例】  
 ● 高津川源流ライドコース  
 ● 100%ZERO サイクリングコース  
 ● 中世益田満喫コース



## 2. 課題の把握、原因の分析 (1) 地元、市のニーズを踏まえた既定計画等

- ・ 益田市は、地域資源を活用した健康づくりに関する計画(①)や、高津川の河川管理道等を活用した新たなサイクリングコースの検討に関する計画(②)を策定しており、「自転車による健康増進・地域振興」を目指している。
- ・ また、島根県の計画(③)では、高津川をレクリエーション機能を有する緑地として位置づけ、周辺の都市環境と調和した親水空間を確保する方針を示しており、「水辺空間を活用したレクリエーションによる賑わい創出」を目指している。

### ① 第6次益田市総合振興計画(令和3年3月策定 益田市)

- ・ 『I.子育てにやさしく、だれもが健やかに暮らせるまち』の『2.保健予防・健康づくりの推進』の施策で『地域資源を活用した心と身体への健康づくりの推進』や『V.安全で快適な環境で暮らせるまち』、『4.豊かな自然環境の保全』の施策で『高津川・益田川などの河川の水質保全』を掲げている。

「地域資源を活用した心と身体への健康づくりの推進」  
地域資源を活用し、ウォーキングやサイクリングなどによる市民とのふれあいづくりや心と身体への健康づくりを推進します。



益田市版SDGs

### ② 益田市自転車活用推進計画(令和2年6月 益田市)

- ・ 自転車を活用したまちづくりを推進し、市民の自転車利用の促進と地域振興を目指す。

(「基本方針2」より)

- ・ 「自転車を活用した健康で心豊かなライフスタイルへの転換」の重点施策(8)「誰もが安全かつ気軽に楽しめるサイクリング環境の整備」で、「高津川河川管理道等の利活用による新たなサイクリングコースの検討・環境整備」を掲げている。

〈8〉誰もが安全かつ気軽に楽しめるサイクリング環境の整備 **重点施策**

① 高津川河川管理道等の利活用による新たなサイクリングコースの検討・環境整備

高津川の河川環境の保全と利活用の観点から整備が検討されている河川空間の利活用によるサイクリング環境の整備について、関係機関連携による検討、整備を行います。市民や来訪者が河川施設や噴水、周辺の観光施設等を通り、本市の景観と文化を安全かつ気軽に楽しむことができるサイクリングコースを検討します。

新規事業	主な事業内容	実施期間	担当事業	連携先	関係機関	市民
○	高津川河川管理道等のサイクリングコースの整備・関係機関による検討・環境整備	短期	○	○	○	○

図 5-2 高津川かわまちづくり計画

### ③ 益田都市計画区域整備、開発及び保全の方針(平成29年8月 島根県)

- ・ 高津川を「水辺空間を活用したレクリエーション機能を有する緑地」として位置づけ、周辺の都市環境と調和した親水空間を確保する方針を示している。

#### 【レクリエーションシステムの配置】

- ・ 水辺空間を活用したレクリエーション機能を有する緑地として高津川・益田川及び持石海岸等西側海浜部を配置。

#### 【環境保全システムの配置】

- ・ 高津川、益田川及び沿川を緑地として位置付け、河川環境・生態系の保全を図る。

#### 【景観構成システムの配置】

- ・ 高津川、益田川を良好な河川景観を有する重要な緑地として位置付ける。

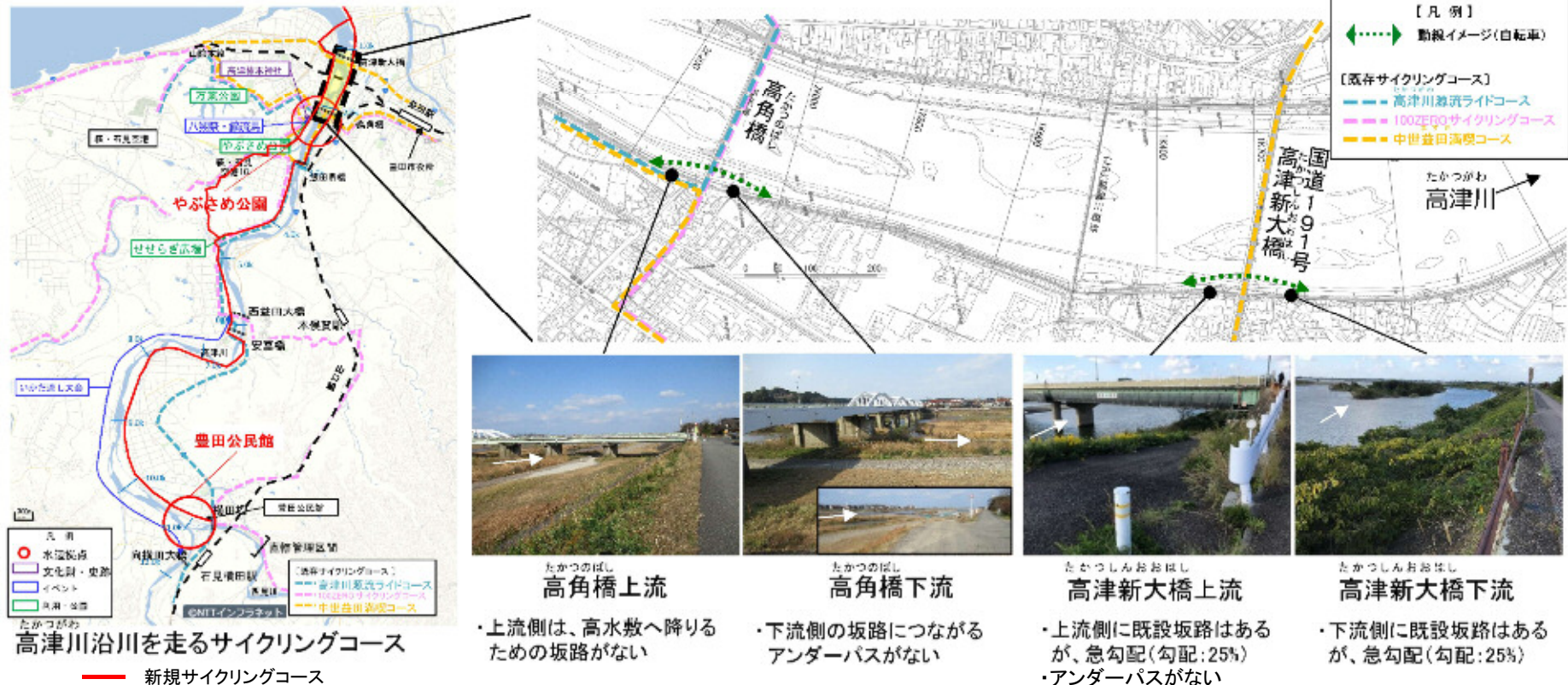


## 2. 課題の把握、原因の分析

### (2)サイクリングロード

目標	自転車による健康増進・地域振興
課題の把握	<p>「益田市自転車活用推進計画」に基づき、高津川河川管理道等の利活用による新たなサイクリングコースを設定するにあたっては、高津川を周遊しながら連続して走行することができないところがあり、自転車を活用した健康増進・地域振興が十分に図れない。</p> <p>国道191号など交通量が多い幹線道路と交差する地点については、安全な通行ができない。</p>
原因の分析	<p>・国道191号など主要道路との交差部にアンダーパス※がない。</p> <p>・堤防上から高水敷に降りるための坂路がない区間がある。</p> <p>・既設坂路はあっても、急勾配である。</p>

※「アンダーパス」とは、橋梁等の下をくぐって通り抜けられる通路





## 2. 課題の把握、原因の分析

### (3) やぶさめ公園付近

目標	水辺空間を活用したレクリエーションによる賑わい創出	自転車による健康増進・地域振興
課題の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>やぶさめ公園付近の高水敷を利用したイベントのニーズはあるものの、現状ではイベント等の実施が困難な状況であり、賑わい創出や地域活性化が図れていない。</li> <li>安全な水辺利用が困難であることから、カヌーやカヤックなどの水面利用が促進されず、賑わい創出や地域活性化が図れていない。</li> <li>また、地域の児童や園児による環境学習や水遊び等の安全な利用が困難であるため、利用機会が失われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><small>ますだし</small> 益田市認定の既存のサイクリングコースや新たなサイクリングコースが付近を通るが、サイクリストが滞留できる場所がなく、地域振興が図れていない。</li> </ul>
原因の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>高水敷が未整備で草木が繁茂しており、また、高水敷にアプローチするための通路が未舗装であり、階段も狭い。</li> <li>安全に水辺に近づくための階段護岸が未整備である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイクリストが休憩できる滞留スペースがない。</li> </ul>



草木が繁茂している未整備の高水敷



高水敷に降りるための幅が狭い階段



階段護岸等が未整備ため、利用しづらい水際



未舗装の通路

## 2. 課題の把握、原因の分析

### (4)豊田公民館付近

目標	水辺空間を活用したレクリエーションによる賑わい創出	自転車による健康増進・地域振興
課題の把握	<p>とよたこうみんかん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊田公民館付近は、地域イベント(いかだ流し大会、親子川流れ、カヤック等体験、つり体験、環境学習等)の実施や観覧が困難な状況であり、賑わい創出や地域活性化が図れていない。</li> <li>キャンプやバーベキュー等の利活用ニーズはあるものの、イベント等の実施が困難であるため、賑わい創出や地域活性化が図れていない。</li> <li>また、地域の児童や園児による環境学習や水遊び等の安全な利用が困難であるため、利用機会が失われている。</li> </ul>	<p>ますだし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>益田市認定の既存のサイクリングコースが付近を通っており、周辺地域へ続くサイクリングコースの分岐点となっているものの、サイクリストが滞留できる場所がなく、地域振興が図れていない。</li> </ul>
原因の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>河原に低木や雑草が繁茂しており、また、水辺にアプローチするための通路は幅が狭く急な階段のみで、坂路は無い。</li> <li>イベントを観覧するスペースが無い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイクリストが休憩できる滞留スペースがない。</li> </ul>



低木や雑草が繁茂している河原



サイクリストが休憩できる滞留スペースや、イベントを観覧するためのスペースが無い



・河原に降りるための幅が狭く急な階段  
・坂路は無い

### 3. 政策目標の明確化、具体的な達成目標の設定

#### (1)達成すべき政策目標

・「<sup>ますだし</sup>益田市自転車活用推進計画」に基づく新たなサイクリングコースの設定や高津川のレクリエーション機能を最大限に活用できる水辺の拠点創出により、『<sup>ますだし</sup>自転車による健康増進・地域振興』や『<sup>たかかつがわ</sup>水辺空間を活用したレクリエーションによる賑わい創出』を図る。

#### (2)具体的な達成目標

- ①新たなサイクリングコースなどを活用し、市民向けサイクルイベントの参加人数の増加を目指す。
- ②水辺空間を利用した新たなイベントの企画を推進し、イベント来訪者数の増加を目指す。

目標	指標	現状値 (R1年度)	目標値 (R9年度末)
自転車による健康増進・地域振興	市民向けサイクルイベントの参加人数	400人/年 <sup>1)</sup>	700人/年 <sup>2)</sup> 【現状値の約1.7倍】
水辺空間を利用したレクリエーションによる賑わい創出	水辺拠点でのイベント来訪者数	4,200人/年 <sup>1)</sup>	8,400人/年 【現状値の約2倍】

出典：  
 1) 益田市等調べ  
 2) 「益田市自転車活用推進計画」におけるイベント回数の目標値をもとに設定

#### (3) 主なソフト施策と期待される効果

目標	自転車による健康増進・地域振興	水辺空間を活用したレクリエーションによる賑わい創出
主なソフト施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <sup>ますだし</sup>益田市は、初心者から上級者まで対応したサイクリングマップを作成しており、今後さらなる充実を図る。</li> <li>・ サイクルスタンドや空気入れ、給水などのサービスを提供する「<sup>ますだし</sup>益田市サイクリストサポート企業」(R3.9末現在の登録数は111社)の登録拡大を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <sup>ますだし</sup>益田市は、<sup>たかかつがわ</sup>高津川でのイベント実施や利活用のニーズ等の把握を目的に、社会実験を実施している。今後は各拠点でのイベントを増やすと共に、イベントの広報を行う。</li> <li>・ 都市・地域再生等利用区域の指定を見据えた社会実験を行う。</li> </ul>
	※社会実験(実績)： ①豊田公民館付近で継続開催されている「親子川流れ」で高津川に対する利活用や整備ニーズを把握(参加者128名、令和2年8月) ②サイクリングルートの魅力発信と課題抽出を企図した現地視察会の実施(協議会メンバー10名参加、令和2年9月) ③高津川かわまちづくり事業の周知及び現在の河川利用の状況を把握を目的としたWEBアンケート調査(回収数136件、令和3年9～10月)	
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たなサイクリングコースの設定により、地域住民が快適かつ安全にサイクリングを実施でき、健康増進に繋がる。</li> <li>・ さらに日常やサイクリングイベント時の自転車利用を促進することで、<sup>ますだし</sup>益田市が目指す自転車を活かしたまちづくりに貢献し地域振興に繋がる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水辺拠点の活用により、これまでできなかった各種イベントや水辺キャンプができるようになるとともに、カヌーやカヤックをはじめとする水辺利用が安全かつ快適に実施できるようになることで、賑わいが創出される。</li> </ul>

### 3. 政策目標の明確化、具体的な達成目標の設定

#### (4) 利活用イメージ

##### ① 自転車による健康増進・地域振興

高津川を周遊できるサイクリングコースの連続性を確保し、自転車利用による健康増進・地域振興を図る



##### 【サイクリングロード】

- 坂路整備により、高津川を安全・快適に周遊できるサイクリングコースを設定し、健康増進・地域振興を図る。

##### ② 水辺空間を活用したレクリエーションによる賑わい創出

伝統行事や人を呼び込むイベントが開催できる河川空間を整備し、新たな賑わいを創出する



地域イベント活動を活性化しサイクリストが集う河川空間を整備し、新たな賑わいを創出する

##### 【やぶさめ公園付近・豊田公民館付近】

- 高水敷整備やアクセス通路の整備により、地域の伝統行事など従来のイベントに加え、マルシェの開催や水辺キャンプなどが可能となることで、新たな賑わいを創出する。
- 階段護岸の整備等により、地域イベントやカヤックなどの安全で快適な水面利用を促進することで、新たな賑わいを創出する。
- サイクリストが集うことができる空間を確保することにより、更なる賑わいを創出し、地域活性化を図る。



## 4. 複数案の提示、比較、評価

- ・やぶさめ公園付近と豊田公民館付近の拠点整備の検討にあたり、当該エリアの課題を解消するための対策案について複数案を抽出し、比較した。
- ・複数案は ①イベント等が開催できる広い平場が確保できること、②サイクリングの拠点(休憩スポット)として活用できること、の観点からそれぞれ下記2箇所を抽出した。

【やぶさめ公園付近】



A案(高角橋左岸付近)

- ・万葉公園、高津柿本神社等の既存施設に加え、広い高水敷を活用した流鏝馬神事が行われているなど、水辺整備により更なる賑わいの創出が期待できる。
- ・高津川ではカヌー、カヤックに水辺利用ニーズがあり、水辺整備による更なる活性化が期待できる。
- ・益田市が推奨する既存のサイクリングコースが近傍を通り、新たなサイクリングコース上に位置することから、サイクリストの休憩スポットにもなる。

B案(高角橋右岸付近)

- ・益田市街地に近くアクセス性が良い広い高水敷があるため、水辺整備により新たな賑わいの創出が期待できる。
- ・高津川ではカヌー、カヤックに水辺利用ニーズがあり、水辺整備による更なる活性化が期待できる。
- ・益田市が推奨する既存のサイクリングコースが近傍を通り、新たなサイクリングコース上に位置することから、サイクリストの休憩スポットにもなる。

【豊田公民館付近】



A案(向横田大橋左岸付近)

- ・現在実施している「いかだ流し」のスタート地点であり、水辺整備により広い高水敷を活用した水辺利用の活性化が期待できる。
- ・益田市が推奨する既存のサイクリングコースの結節点に近く、サイクリストの休憩スポットにもなる。

B案(横田橋右岸付近)

- ・周辺には豊田公民館や小学校等の既存施設に加え、近傍では「いかだ流し」や「親子川流れ」等のイベントが行われているなど、広い高水敷を活用した水辺整備により更なる賑わいの創出が期待できる。
- ・益田市が推奨する既存のサイクリングコースや新たなサイクリングコースの結節点であり、サイクリストの休憩スポットにもなる。

【凡例】

- 整備候補箇所
- 公共施設等
- ▲ 観光地・イベント
- 公園
- 新規サイクリングコース
- [既存サイクリングコース]
- 高津川源流ライドコース
- 100ZEROサイクリングコース
- 中世益田満喫コース

## 4. 複数案の提示、比較、評価【やぶさめ公園付近】

比較案	A案: 高角橋左岸付近
整備テーマ	益田市の歴史や文化を体感できる既存施設と高津川の自然環境の両方に触れる空間づくり
地区の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>万葉公園、高津柿本神社等の既存施設に加え、高水敷を活用した流鏝馬神事が行われている。</li> <li>益田市が推奨する既存のサイクリングコースが近傍を通り、新たなサイクリングコース上に位置する。</li> </ul>
整備の概要	<p><b>【高水敷広場整備後の主な利活用プログラム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統行事（流鏝馬神事等）</li> <li>・ピクニック、BBQ</li> <li>・マルシェ、祭り、演奏会 等</li> </ul> <p><b>【管理通路整備後の主な利活用プログラム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキング、ランニング</li> <li>・マラソン大会</li> <li>・サイクリングイベント</li> </ul> <p><b>【護岸整備後の主な利活用プログラム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水遊び</li> <li>・近隣小学校等の児童・園児による環境学習</li> <li>・稚魚等放流イベント</li> <li>・大会等イベント（高津川チャレンジアスロン等）</li> </ul> <p><b>【既存サイクリングコース】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— 高津川源流ライドコース</li> <li>— 100ZEROサイクリングコース</li> <li>— 中世益田満喫コース</li> </ul> <p><b>【国による整備】</b> (Blue outline) <b>【市による整備】</b> (Red outline)</p>

## 4. 複数案の提示、比較、評価 【やぶさめ公園付近】

比較案	B案: 高角橋右岸
整備テーマ	益田市街地からアクセスしやすく、高津川の自然環境に触れる空間づくり
地区の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>益田市街地に近くアクセス性が良い高水敷がある。</li> <li>益田市が推奨する既存のサイクリングコースが近傍を通り、新たなサイクリングコース上に位置する。</li> </ul>
整備の概要	<p><b>【管理通路整備後の主な利活用プログラム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキング、ランニング</li> <li>マラソン大会</li> <li>サイクリングイベント</li> </ul> <p><b>【護岸整備後の主な利活用プログラム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カヌー、カヤック体験</li> </ul> <p><b>【高水敷広場整備後の主な利活用プログラム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ピクニック、BBQ</li> <li>マルシェ、祭り、演奏会 等</li> </ul> <p><b>【護岸整備後の主な利活用プログラム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水遊び</li> <li>近隣小学校等（左岸）の児童・園児による環境学習</li> <li>稚魚等放流イベント</li> <li>大会等イベント（高津川チャレンジアスロン等）</li> </ul> <p><b>【既存サイクリングコース】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高津川源流ライドコース</li> <li>100ZEROサイクリングコース</li> <li>中世益田満喫コース</li> </ul> <p><b>【国による整備】</b> (Blue outline) <b>【市による整備】</b> (Red outline)</p> <p>高津川 高津小学校 高津幼稚園 高津保育園 やぶさめ公園 高角橋 国道9号 張芝 坂路 案内板 サイクルスタンド 階段護岸 掘削 階段護岸 親水護岸 管理用通路 新規橋梁予定 (ひとまる大橋)</p> <p>整備候補箇所の位置関係</p>

## 4. 複数案の提示、比較、評価【やぶさめ公園付近】

比較案		A案：高角橋左岸付近 (高津川2k200付近)	B案：高角橋右岸付近 (高津川2k200～3k000付近)	
対象地区の特性		<ul style="list-style-type: none"> <li>萩・石見空港ICから約1.2km、高津ICから約1.4km</li> <li>広い高水敷は近隣保育園等の野外活動の場として活用されている。</li> <li>小学校が隣接しており、環境学習等の場としての利活用が期待できる。</li> <li>高津柿本神社や万葉公園が近く、大きな集客効果が期待できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>萩・石見空港ICから約2.1km、高津ICから約2.0km</li> <li>広い高水敷は近隣保育園等の野外活動の場として活用されている。</li> <li>須子町自治会の水辺EN組活動の場となっている。</li> <li>対岸には高津柿本神社や万葉公園があり、大きな集客効果が期待できる。</li> </ul>	
整備内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>親水護岸・階段護岸・管理用通路</li> <li>張芝・案内板・サイクルスタンド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親水護岸・階段護岸・掘削・管理用通路・坂路</li> <li>張芝・案内板・サイクルスタンド</li> </ul>	
評価軸	実現性	<ul style="list-style-type: none"> <li>すでに高水敷があり、新たな造成なしでも整備が可能。</li> <li>階段護岸等を整備することで、カヌー等の乗降が可能な水辺整備が可能。</li> <li>小学校が隣接しており、環境学習等の場としての利活用も期待できる。</li> <li>新たなサイクリングコースの設定が可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すでに高水敷があり、新たな造成なしでも整備が可能。</li> <li>階段護岸等を整備することで、水辺整備は可能。</li> <li>ただし、砂州の発達により、カヌーやカヤック等のスポーツ活動は困難。</li> <li>対岸の小学校や近隣保育園等の野外活動の更なる利活用が期待できる。</li> <li>新たなサイクリングコースの設定が可能。</li> </ul>	△
	アクセス性	<ul style="list-style-type: none"> <li>萩・石見空港ICから約1.2km、高津ICから約1.4kmであり、アクセスしやすい。</li> <li>新規橋梁の建設により、国道9号や益田市街地からの最短ルートが確保される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>萩・石見空港ICから約2.1km、高津ICから約2.0kmであり、アクセスしやすい。</li> <li>国道9号が隣接しており、益田市街地が近い。</li> <li>砂州があるため、用意に水際に近づくことが出来ない。</li> </ul>	△
	観光機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>背後に高津柿本神社や万葉公園があるため、潜在的な集客効果が期待される。</li> <li>フォトスポットとして期待できる高角橋や飯田吊橋等が近傍にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高津柿本神社や万葉公園が対岸となるため、A案よりは劣る。</li> <li>フォトスポットとして期待できる高角橋や飯田吊橋等が近傍にある。</li> </ul>	△
	経済性 (コスト)	<ul style="list-style-type: none"> <li>B案より安い。</li> <li>完成までに要する費用 約2.46億円(本工事費)</li> <li>維持管理に要する費用 約0.62億円(50年間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A案より高い。</li> <li>完成までに要する費用 約2.66億円(本工事費)</li> <li>維持管理に要する費用 約0.67億円(50年間)</li> </ul>	△
	維持管理の持続性	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な維持管理により持続可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な維持管理により持続可能。</li> </ul>	○
	地域社会への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の構想や、水辺の賑わいによる地域活性化への貢献が可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の構想や、水辺の賑わいによる地域活性化への貢献が可能。</li> </ul>	○
	環境・景観への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備による自然環境の改変はほとんど生じない。</li> <li>景観形成への影響は生じない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>河道掘削による自然環境の改変はほとんど生じないが、掘削による濁水の発生が懸念される。</li> <li>景観形成への影響は生じない。</li> </ul>	△
総合評価		○	△	

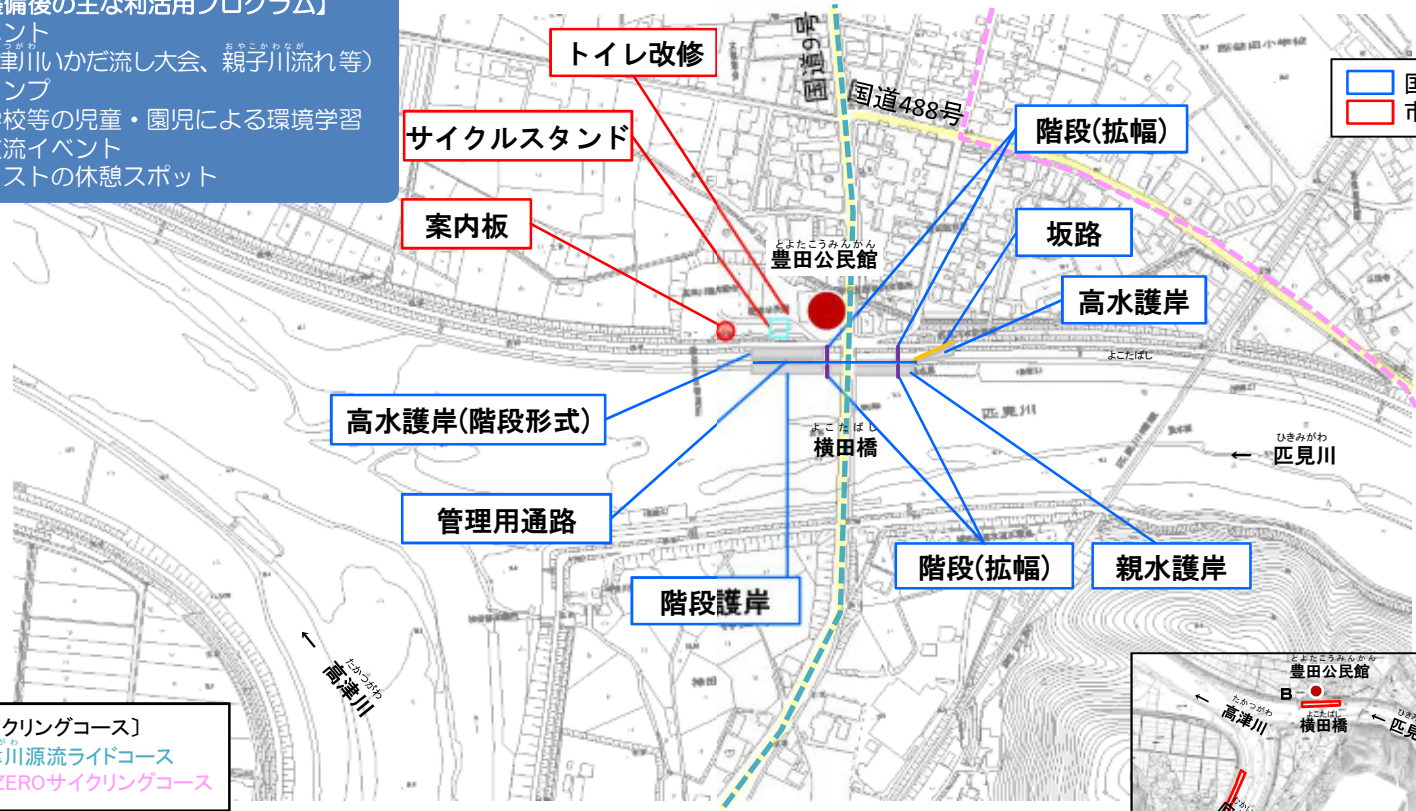
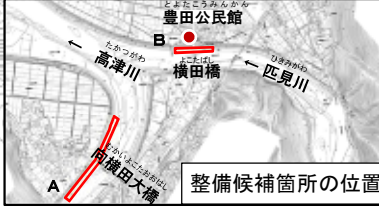
・比較2案に対して実現性、アクセス性、経済性など7つの評価軸について評価を実施した。  
 ・総合評価において、より実現性が高く、地域振興への効果も期待でき、経済性にも優れていることから、「A案：高角橋左岸付近」の計画が妥当である。



4. 複数案の提示、比較、評価【豊田公民館付近】

比較案	A案: 向横田大橋左岸付近 <small>むかいよこたおおはし</small>
整備テーマ	既存の水辺イベントと高津川の自然環境を活かした賑わいを創出する空間づくり <small>たかつがわ</small>
地区の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在実施している「いかだ流し」のスタート地点である。</li> <li>益田市が推奨する既存のサイクリングコースの結節点に近い。</li> </ul>
整備の概要	<p>国による整備 市による整備</p> <p>【護岸等整備後の主な利活用プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種イベント (清流高津川いかだ流し大会、親子川流れ 等)</li> <li>水辺キャンプ</li> <li>近隣小学校等の児童・園児による環境学習</li> <li>稚魚等放流イベント</li> <li>サイクリストの休憩スポット</li> </ul> <p>〔既存サイクリングコース〕 --- 高津川源流ライドコース</p> <p>整備候補箇所の位置関係</p>

4. 複数案の提示、比較、評価【豊田公民館付近】

比較案	B案:横田橋右岸付近
整備テーマ	大人から子供まで幅広い住民が水辺を利用でき、またサイクリストが高津川の自然にふれ憩う空間の創出
地区の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周辺には豊田公民館や小学校等の既存施設に加え、近傍では「いかだ流し」や「親子川流れ」等のイベントが行われている。</li> <li>・ 益田市が推奨する既存のサイクリングコースの結節点である。</li> </ul>
整備の概要	<div data-bbox="340 491 869 715" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>【護岸等整備後の主な利活用プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種イベント (清流高津川いかだ流し大会、親子川流れ等)</li> <li>・ 水辺キャンプ</li> <li>・ 近隣小学校等の児童・園児による環境学習</li> <li>・ 稚魚等放流イベント</li> <li>・ サイクリストの休憩スポット</li> </ul> </div>  <div data-bbox="362 1216 698 1327" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【既存サイクリングコース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— 高津川源流ライドコース</li> <li>— 100ZEROサイクリングコース</li> </ul> </div> <div data-bbox="1594 1168 2031 1375" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>整備候補箇所の位置関係</p> </div>

## 4. 複数案の提示、比較、評価【豊田公民館付近】

比較案	A案：向横田大橋左岸付近 (高津川11k400～11k800付近)	B案：横田橋右岸付近 (匹見川0k200付近)	
対象地区の特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>向横田大橋上下流左岸</li> <li>近隣保育園の野外活動の場として利用。いかだ下りの拠点。</li> <li>国道9号、187号、488号の分岐点に位置しアクセスが良い。</li> <li>匹見方面、津和野・高津川源流方面への分岐点。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高津川と匹見川の合流地点</li> <li>小学校や保育園が近く、環境学習等の場としての利活用が期待できる。</li> <li>国道9号、187号、488号の分岐点に位置しアクセスが良い。</li> <li>匹見方面、津和野・高津川源流方面への分岐点。</li> </ul>	
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>高水護岸・高水護岸(階段)・階段護岸・親水護岸・管理用通路</li> <li>坂路・案内板・サイクルスタンド・トイレ整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高水護岸(階段)・高水護岸・親水護岸・階段護岸・管理用通路</li> <li>坂路・案内板・サイクルスタンド・トイレ改修</li> </ul>	
評価軸	実現性	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用にあたり高水敷の造成が必要となる。</li> <li>維持管理等を含め利用の自立・継続が期待できる。</li> <li>保育園が近く、比較的浅瀬があるため野外活動の場としての利活用されており、更なる整備により活性化する可能性がある。</li> <li>近くにトイレがないため新設する必要がある。</li> <li>新たなサイクリングコースからはやや外れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用にあたり高水敷の造成が必要となる。</li> <li>維持管理等を含め利用の自立・継続が最も期待できる。</li> <li>小学校や保育園が近く、比較的浅瀬であるため水辺遊びの場としての利活用が期待できる。</li> <li>改修の必要はあるが、近接する「豊田公民館」のトイレ、ベンチ(休憩施設)等が整っている。</li> <li>新たなサイクリングコースの設定が可能。</li> </ul>
	アクセス性	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道9号が近くアクセス性がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国道9号に接しておりアクセス性がよい。</li> </ul>
	観光機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>匹見方面、津和野・高津川源流方面への分岐点となっており両方面へ向かうサイクリストの休憩拠点として期待される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>匹見方面、津和野・高津川源流方面への分岐点となっており両方面へ向かうサイクリストの休憩拠点として期待される。</li> </ul>
	経済性(コスト)	<ul style="list-style-type: none"> <li>B案よりも高い。</li> <li>完成までに要する費用 約1.49億円(本工事費)</li> <li>維持管理に要する費用 約0.37億円(50年間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A案より安い。</li> <li>完成までに要する費用 約1.29億円(本工事費)</li> <li>維持管理に要する費用 約0.32億円(50年間)</li> </ul>
	維持管理の持続性	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な維持管理により持続可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な維持管理により持続可能。</li> </ul>
	地域社会への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の構想や、水辺の賑わいによる地域活性化への貢献が可能</li> <li>地域のイベントやスポーツ利用を目的とした河川内への車両の進入が想定されることから、確実に誘導する必要がある。</li> <li>施工中の工事車両の動線は確保されており、工事による周辺地域への影響が想定されるものの、影響範囲は限定的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の構想や、水辺の賑わいによる地域活性化への貢献が可能</li> <li>地域のイベントやスポーツ利用を目的とした河川内への車両の進入が想定されることから、確実に誘導する必要がある。</li> <li>施工中の工事車両の動線は確保されており、工事による周辺地域への影響が想定されるものの、影響範囲は限定的である。</li> </ul>
	環境・景観への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備による自然環境の改変はほとんど生じない。</li> <li>景観形成への影響は生じない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備による自然環境の改変はほとんど生じない。</li> <li>景観形成への影響は生じない。</li> </ul>
総合評価	△	○	

・比較2案に対して実現性、アクセス性、経済性など7つの評価軸について評価を実施した。  
 ・総合評価において、より実現性が高く、地域振興への効果も期待でき、経済性にも優れていることから、「B案：横田橋右岸付近」の計画が妥当である。

## 5. 対応方針(案)

### (1)島根県の意見

対応方針(原案)について、異存ありません。

### (2)対応方針(案)

政策目標である『自転車による健康増進・地域振興』、『水辺空間を活用したレクリエーションによる賑わい創出』に対して、実現性や経済性の観点から評価した結果、やぶさめ公園付近においては「A案：高角橋左岸付近」、豊田公民館付近においては「B案：横田橋右岸付近」の計画が妥当。